INTERIM REPORT 2012

第62期 中間報告書 2011.3.1~2011.8.31

point

経営報告会を開催し、事業展開をご説明いたします。

毎年恒例となっております経営報告会を、今回も東京と大阪で開催いたします。昨年も多数の株主様のご参加をいただき、貴重なご意見をうかがうことができました。当社は、この経営報告会を、株主の皆様との交流を図る貴重な機会と考えております。右記のとおり、どちらの会場も週末の開催となっておりますので、今回も多数の方のご参加をお待ちしております。
また、ご参加いただいた方には、粗品をご用意しております。

ポイント経営報告会

東京会場 日時：2011年11月19日（土）11時～12時
場所：ベルサール渋谷ファースト 2階

大阪会場 日時：2011年11月20日（日）11時～12時
場所：堂島ホテル 4階 グラマシー

※受付開始はいずれも10時30分を予定しております。
※詳細は同封しておりますご案内状をご覧ください。

株式会社ポイント
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目7番2号
八重洲三井ビルディング10階
Tel. 03-3243-6011 Fax. 03-3243-6022
http://www.point.co.jp/

ecopo

Waterless Printing. Naturally.

TOYO INK nonVOC

PRO-WE

PROJECT- With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT- With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第62期上半期における事業のご報告を
するにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

代表取締役会長兼社長　**福田　三千男**

震災後の厳しい環境に機動的に対応し業容を拡大しました。

2011年3月から8月にかけての我が国の経済は、震災による供給面の制約が解消していく中で、民間需要も持ち直しの動きが見られましたが、先行きの不透明感の高さ等から個人消費は力強さを取り戻すには至らないまま推移しました。
このような環境のもと、当社グループは、当期を次期中期経営計画での飛躍に向けた強い企業体質を構築する一年と位置付け、既存ブランドの成長と変革による業容拡大、ビジネスモデルの強化による永続的成長、将来の成長に向けた新たなマーケットの開拓、積極的な人材投資による組織力の強化を基本的な戦略に据えて様々な施策を実行してまいりました。
売上面では、積極的な出店の寄与や海外の売上の増加等により、売上高525億50百万円（前年同期比10.5%増）となり、第2四半期末の店舗数は国内758店舗、海外42店舗の計800店舗（出店75店舗、退店21店舗）となりました。
収益面では、震災の影響を受けてセール商戦が前倒しとなったこと、積極的な店舗展開に伴う人件費の増加や広告宣伝の拡充による費用が増加したこと、さらに、特別損失として震災による損失を計上したことなどから、営業利益は46億77百万円（前年同期比22.3%減）、経常利益は47億53百万円（前年同期比22.2%減）、四半期純利益は23億95百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

今後のさらなる飛躍に向けて着実に企業体質を強化しています。

上半期における具体的な成果としましては、既存ブランドにおいてレイジブルーとヘザーが高い伸び率で進捗するとともに、ローリーズファーム、グローバルワークの大型店が好調に推移しました。また、基幹ブランドであるローリーズファームおよびグローバルワークにおいて新ラインを追加し、年齢や店舗の立地などによって異なるお客様の多様なニーズにお応えするための品揃えを充実させています。その他、コレクトポイント原宿店をWEBストアとの連動型ショップに業態変更し、新しい形でのお客様へのアプローチをスタートさせました。
新規ブランドでは、ティーンズ向けブランドであるレピピアルマリオが大きく伸長しました。また、海外での展開も着実に進んでおり、台湾、香港、中国のそれぞれの市場で高い成長を達成しています。
生産面での取り組みとしましては、前期より生産本部を設置し、自社商品企画機能の確立と生産管理体制の強化を目指して体制の整備を進めており、この秋冬に展開する自社企画商品の投入がスタートしました。また、生産本部内に新たに雑貨企画部を設置し、各ブランドにおける雑貨商品の充実を推進しています。
さらに、震災の経験を踏まえた物流機能の整備のため、関西にも新たな物流センターを設置し、物流拠点の分散を図りました。
組織面では、基幹ブランド強化のために営業組織を改編しました。また、新規事業や生産本部を中心に外部人材の積極採用を継続したほか、人材育成のための研修体制の拡充を図り、組織力の強化を推進しています。

下半期は次期中期経営計画に向けた革新をさらにスピードアップします。

当社は昨年、外資系企業を含めた同業他社との競争激化やグローバル化の急速な進展、中国の経済成長に伴う労働力不足など、急速に変化するビジネス環境に迅速・柔軟に対応し、10年後・15年後を見据えた経営基盤の革新を図り、そのための投資を行っていくという方針を打ち出しました。下半期には、各施策の推進をより一層スピードアップしていきます。
来期（第63期）から始まる次期中期経営計画につきましては確定後発表いたしますが、「ファッション市場において世界で躍進する企業・ブランドに成長する」という私たちのビジョンを実現させるため、グローバルブランドを含めた競合他社との競争に打ち勝つ差別化と、それを達成する経営基盤をつくりあげることを目標とし、売上高2,000億円を目指します。
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

	売上高	経常利益	四半期（当期）純利益	店舗数
当第2四半期	525億円 （前年同期比10.5%増） 国内 509億円（前年同期比 9.9%増） 海外 15億円（前年同期比34.5%増）	47億円 （前年同期比22.2%減）	23億円 （前年同期比24.5%減）	800店舗 （前期末比53店舗増） 国内 758店舗（前期末比52店舗増） 海外 42店舗（前期末比 1店舗増）
通期見通し	1,160億円	141億円	75億円	830店舗

さらなる飛躍に向けた企業体質の強化のため、様々な施策を実行しました。

当期は、中期経営計画TOP12(Take Off Point 2010-2012)の最終年度に当たります。当社グループは、東日本大震災のもたらした厳しい状況を乗り越え、次期中期経営計画での飛躍に向けた強い企業体質を構築するため、様々な施策を実行しました。下半期も引き続きこれらの取り組みを着実に推進し、さらなる成長への足がかりとしてまいります。

4つの戦略		上半期の主な成果		
Strategy 1	既存ブランドの成長と変革による業容拡大	基幹ブランド強化のため新ラインを追加 ➡ CLIP01へ	コレクトポイント原宿店をWEB連動型ショップとしてリニューアル ➡ CLIP02へ	ローリーズファーム、グローバルワークの大型店が好調に推移
Strategy 2	ビジネスモデルの強化による永続的成長	生産本部を活用した自社企画商品の投入を開始 ➡ CLIP03へ	雑貨企画部の設置による雑貨商品の強化 ➡ CLIP03へ	
Strategy 3	将来の成長に向けて新たなマーケットの開拓	レピピアルマリオが大きく伸長 ➡ CLIP04へ	コレクトポイント新宿・京都・福岡を『コレクトポイント』オリジナルブランド100%にて展開	海外店舗が引き続き好調に推移 ➡ CLIP05へ
Strategy 4	積極的な人材投資による組織力の強化	組織を改編し、基幹ブランドの強化のための体制を整備	新規事業、生産本部中心に外部人材の積極採用を継続	海外研修、マネジメント研修等、研修体制を拡充

01 基幹ブランド強化を図るため新ラインを追加しました。

当社は、2011年9月から基幹ブランドに新ラインを追加しました。
ローリーズファームは「No.35」「No.18」を、グローバルワークは「アンダーカレント」を展開します。
展開するテイストやバリエーションを強化することで、これまでのブランドの顧客層を拡大し、多様なニーズに対応していきます。

LOWRYS FARM

【ローリーズファーム】

従来のベーシックなラインに、大人の女性のリラックススタイルを提案する「No.35」、女の子の気分にフィットするかわいいとかっこいいを提案する「No.18」を新ラインとして追加しました。これまでのヤングに加え、20代後半より年齢の高い顧客層をターゲットとし、ブランドの成長を図ります。また、ロケーションに合わせたラインの展開や、細やかな商品構成を行い、幅広いファン獲得を目指します。

ローリーズファーム No.35

ローリーズファーム No.18

GLOBAL WORK

【グローバルワーク】

大型店出店時の展開バリエーションのさらなる強化を図るために、「アンダーカレント」の展開を開始します。グローバルワークの顧客層に対し、様々なシーンに合わせて着ていただけるアイテムを揃え、“おしゃれを楽しむこと”を提案します。

アンダーカレント

02 コレクトポイント原宿店とポータルWEBストアで新しい展開を開始します。

2011年9月17日、人気ブランドのWEBストアを融合したポータルWEBストア「collect point(コレクトポイント)」をスタートさせるとともに、WEB連動型ショップとして「コレクトポイント原宿店」をリニューアルオープンしました。ポータルWEBストアでは、ブランドのミックスコンテンツや、ポイントの商品を着用した方々のストリートスナップ、新着アイテムやランキングチェックなど、人気ブランドを集めたポータルサイトだからこそできる多様なコンテンツでお楽しみいただけます。WEBストアと店舗を連動させた、様々な仕掛けや演出をご用意し、双方向からコミュニケーションできる場として活用してまいります。

[URL]http://www.point.jp/

コレクトポイント原宿店

03 生産本部を活用した自社企画商品の投入を開始しました。

2011年3月より、生産本部を生産管理部・商品企画部・雑貨企画部の三部体制とし、雑貨を含めて商品企画力を強化する体制を整えました。この秋冬より商品企画部のデザイナーやパタンナーによる自社企画商品の投入を開始します。また、雑貨企画部は全社的に雑貨売上比率の向上を図るための中枢機能として、雑貨ラインナップの充実を推進しています。

04 レピピアルマリオが大きく伸長しました。

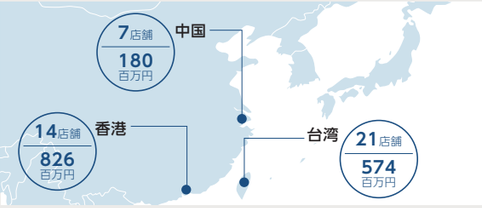
レピピアルマリオは、2010年2月にスタートしたティーンズ向けのブランドです。スタートから1年が経過し商品の精度を高めたことや、ティーンに人気の高い雑誌やタレントを起用したプロモーションが奏効し、認知度が向上したことから、上半期の売上高は前年同期比453.1%増と、大きく伸長しました。

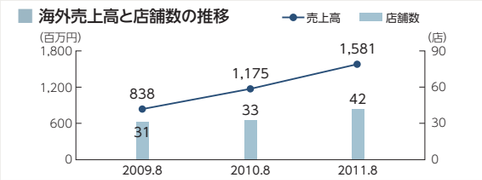
レピピアルマリオ原宿店

05 海外店舗が引き続き好調に推移しています。

海外店舗が引き続き好調に推移しています。上半期は、台湾で1店舗の出店、2店舗の退店、香港で2店舗の出店、1店舗の退店、中国で1店舗の出店の結果、海外店舗数は、台湾21店舗、香港14店舗、中国7店舗の計42店舗となり、海外売上高は15億81百万円(前年同期比34.5%増)となりました。中国では上海に続いて蘇州に進出したほか、この秋には北京にも出店するなど、上海以外の地区でも店舗展開を進めます。

コレクトポイント五角場万達広場店(上海)





06 東日本大震災により被災された方々への、様々な支援活動を推進しています。

当社グループは、「ファッションを通じて日本を元気にする」ことが私たちの役割であると考え、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって、甚大な被害にみまわれた地域の方々の救援や、被災地復興支援のための様々な取り組みを行っています。

売上金額1％の寄付

被災地への義援金として、2011年3月19日から5月8日までの期間中の売上の一部（1％）を寄付いたしました。集まった寄付金総額約1億5,700万円は、日本赤十字社などを通じて、被災地へ寄付いたしました。

義援金の寄付

被災地への義援金として1,000万円を、日本赤十字社を通じて寄付いたしました。

支援物資の寄贈

被災地への支援物資として、当社衣料5,000点を寄贈いたしました。

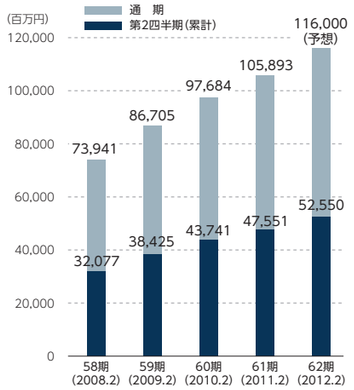
株主優待の寄付

当社は、株主の皆様からの被災地復興支援のご要望にお応えし、株主優待券をご活用いただいた義援金提供の取り組みを実施いたしました。このたび、1,170名の株主様よりご賛同いただき集まった総額348万円を、当社より日本赤十字社を通じて2011年7月末に被災地へ寄付いたしました。

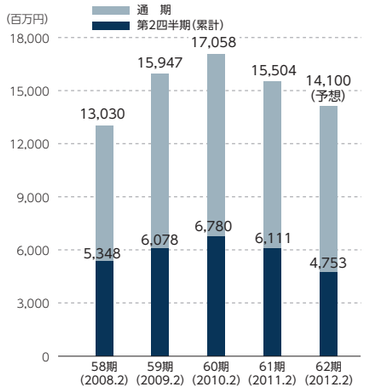
「音T」を通じた被災地復興支援

2009年から実施しているチャリティープロジェクト「音Tキャンペーン」を活用した復興支援活動を実施いたしました。「音T」は、付属のQRコードを読み取ることで、美しい日本の音風景を聴くことができるTシャツです。このたびの震災で特に被害の大きかった岩手県・宮城県・福島県の観光名所や郷土資源の音風景から、デザインモチーフを選定いたしました。販売した収益は被災地へ寄付し、復興にお役立ていただきます。

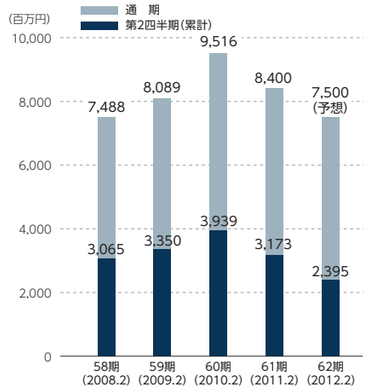
売上高



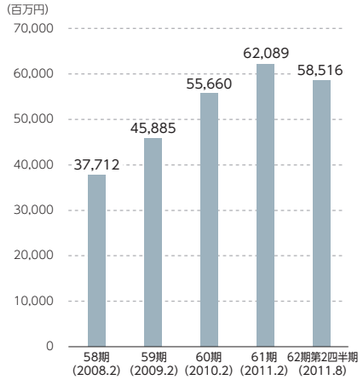
経常利益



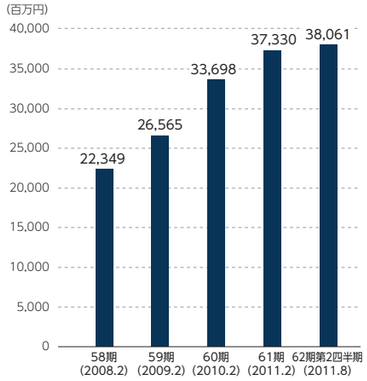
当期（四半期）純利益



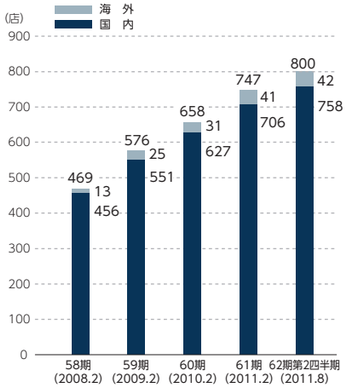
総資産



純資産



店舗数



四半期連結損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科　目	当第2四半期 (2011年3月1日～2011年8月31日)	前第2四半期 (2010年3月1日～2010年8月31日)
売上高	52,550	47,551
売上原価	21,694	19,073
売上総利益	30,856	28,478
販売費及び一般管理費	26,178	22,458
営業利益	4,677	6,019
営業外収益	87	97
営業外費用	11	5
経常利益	4,753	6,111
特別利益	4	2
特別損失	706	733
税金等調整前四半期純利益	4,050	5,380
法人税等	1,635	2,190
少数株主損益調整前四半期純利益	2,414	－
少数株主利益	18	15
四半期純利益	2,395	3,173

特別損失

震災による損失のほか、退店・改装に伴う賃貸借契約解約損、固定資産除却損および減損損失を計上しました。

退店

店舗戦略の見直し等により、個々に十分な検討を行った結果、21店舗の退店を行いました。

改装

店舗鮮度維持、ブランド価値向上を狙って、国内37店舗の改装を行いました。

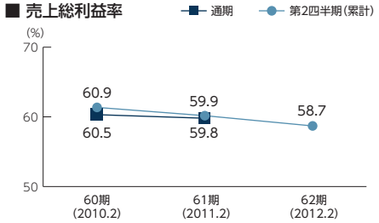
ローリーズファーム ルミネエスト店
（2011年8月 リニューアル）

震災による損失

東日本大震災による特別損失として4億39百万円を計上しました。

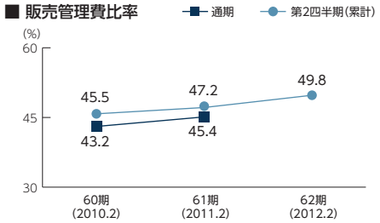
売上総利益の状況

夏のセール商戦が前倒しとなったことによる値下げ販売の増加や、震災時の物流経費の負担が増加した結果、売上総利益率は前年同期比で1.2ポイントの低下となりました。



販売費及び一般管理費

積極的な店舗展開に伴う人件費の増加やテレビCMの実施に伴う広告宣伝の拡充を主因に、販売費及び一般管理費が増加したことから、販売管理費比率は49.8%となりました。



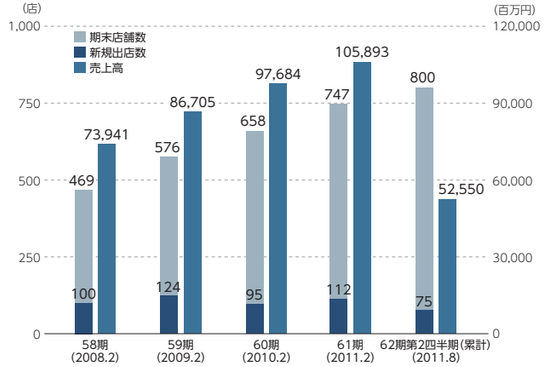
国内外で積極的に店舗を展開し、売上高が伸長しました。

当第2四半期（累計）の国内既存店売上高は、震災による個人消費の落ち込みや夏のセール商戦の前倒しの影響もあり、前年同期比96.4%となりましたが、連結売上高は積極的な出店による新店の寄与や海外の売上増の寄与により、前年同期比10.5%増の525億50百万円となりました。

国内につきましては、基幹ブランドや成長期ブランドを中心に71店舗の出店を行うとともに18店舗の退店を行った結果、当第2四半期末時点での国内店舗数は758店舗となり、国内売上高は前年同期比9.9%増の509億69百万円となりました。

海外につきましては、店舗数の増加に伴う認知度向上により台湾、香港、中国ともに大幅に売上が伸長し、特に中国では前年同期比394.6%の伸びとなりました。当第2四半期末時点での海外店舗数は42店舗となり、海外売上高は前年同期比34.5%増の15億81百万円となりました。

■ 売上高・店舗数の推移（連結）

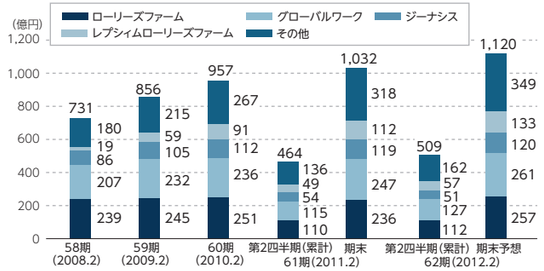


※店舗には、他社および自社のEコマースサイトを含んでおります。

レピピアルマリオが高い成長を果たしました。

国内のブランド別売上高につきましては、既存ブランドではレイジブルーやグローバルワーク、ヘザーが好調に推移しました。また、2010年2月にスタートしたティーンズ向けブランドのレピピアルマリオが前年同期比453.1%増となる高い成長を見せたほか、コレクトポイントオリジナルブランドが本格的な展開に伴って前年同期比866.7%増となりました。

■ ブランド別売上高の推移（国内）



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期 (2011年8月31日現在)	前期 (2011年2月28日現在)
●資産の部		
流動資産	33,960	38,579
固定資産	24,555	23,510
資産合計	58,516	62,089
●負債の部		
流動負債	20,319	23,877
固定負債	135	881
負債合計	20,455	24,758
●純資産の部		
株主資本	37,870	37,138
評価・換算差額等	△ 48	△ 28
新株予約権	46	46
少数株主持分	192	174
純資産合計	38,061	37,330
負債及び純資産合計	58,516	62,089

資産

短期運用として購入していたコマーシャル・ペーパー、国債が減少しました。

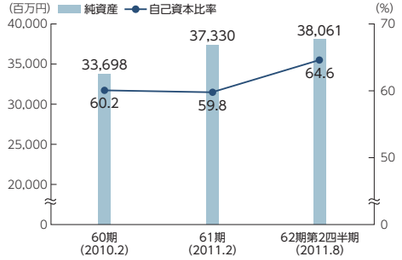
負債

買掛金および未払法人税等が減少したことにより、負債が減少しています。

純資産

毎期着実に純資産の積み上げを図っています。

■ 純資産／自己資本比率



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期 (2011年3月1日～2011年8月31日)	前第2四半期 (2010年3月1日～2010年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	269	1,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,340	△ 2,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,662	△ 1,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 35
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 4,735	△ 3,029
現金及び現金同等物の期首残高	26,151	26,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,415	23,171

投資活動によるキャッシュ・フロー

出店に伴う有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期(第61期)の期末配当金の支払いによるものです。

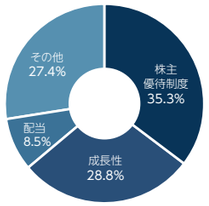
当社では、株主の皆様のご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第61期年次報告書をお送りした全ての個人株主の皆様を対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。
ご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げますとともに、その結果の一部を以下のとおりご報告申し上げます。
皆様からいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

調査概要

調 査 対 象：全株主20,855名
調 査 方 法：第61回定時株主総会決議ご通知に同封(2011年5月27日発送)
有効回答者数：2,063名(返送率:9.9%)

1 株式購入時に最も重視した点は「株主優待制度」

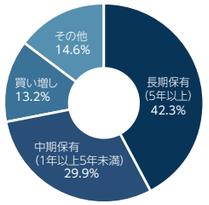
▮当社株式を購入された際に最も重視されたこと



当社株式を購入された際に最も重視されたこととしては、「株主優待制度」(35.3%)、「成長性」(28.8%)、「配当」(8.5%)となりました。今後も引き続き持続的な成長を図りつつ、株主の皆様への適正な利益還元に努めてまいります。

2 当社株式の保有方針は「長期保有」

▮当社株式の保有方針

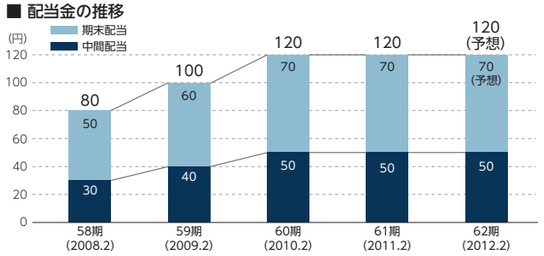


当社株式の保有方針については、「長期保有(5年以上)」が42.3%と前回に続き一番多く、「中期保有(1年以上5年未満)」の29.9%と合わせて70%以上の方に中長期的な視点で株式を保有いただいています。今後も長く株式を保有いただけるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様への還元について

当社は、株主の皆様への還元については、連結配当性向30%を基準に実施してまいります。
当期の中間配当金につきましては、1株当たり50円(前期の中間配当と同額)とさせていただきました。当期の期末配当予想は1株当たり70円(前期末と同額)ですので、年間配当は120円の予定です。

■ 配当金の推移



ホームページのご案内

詳細の財務情報は当社ホームページに掲載しております。
その他、最新の情報も掲載しておりますので、是非ご利用ください。

http://www.point.co.jp/ir/

ポイント 検索

会社概要 (2011年8月31日現在) Company Outline

■会社概要

会社名	株式会社ポイント
本部	東京都中央区八重洲二丁目7番2号 八重洲三井ビルディング10階
代表電話	03-3243-6011
設立	1953年10月
資本金	2,660百万円
代表者	代表取締役会長兼社長　福田　三千男
事業内容	カジュアルウェア専門店チェーン
事業所	水戸本店　東京本部　国内店舗数　758店舗
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行　常陽銀行
社員数	正社員2,034名
平均年齢	28.3歳

■取締役・監査役

代表取締役会長兼社長	福田　三千男
代表取締役専務執行役員	遠藤　洋一
取締役専務執行役員	久保木　大世
取締役常務執行役員	櫻井　健一
取締役常務執行役員	時松　克治
取締役常務執行役員	松田　毅
取締役常務執行役員	五十嵐　俊弘
取締役常務執行役員	浅井　英成
取締役	加藤　章
常勤監査役	新名　宏志
監査役	横山　哲郎
監査役	前川　渡
監査役	髙橋　惇

※取締役のうち、加藤章は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役のうち、新名宏志、横山哲郎、前川渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■連結子会社

株式会社ポジック

資本金	10百万円
当社の出資比率	100%
主な事業内容	当社取扱商品の物流業務
事業所	水戸物流センター、福岡物流センター、茨城西物流センター 神戸物流センター

波茵特股份有限公司

資本金	10百万台湾ドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	台湾における衣料販売業務
事業所	台北本部　台湾店舗数 21店舗

POINT HOLDING CO., LTD

資本金	48百万香港ドル
当社の出資比率	75%
主な事業内容	香港における衣料販売業務
事業所	香港本部　香港店舗数 14店舗

方針(上海)商貿有限公司

資本金	23百万香港ドル
出資者	POINT HOLDING CO., LTD 100% ※POINT HOLDING CO., LTDは当社75%出資会社です。
主な事業内容	中国における衣料販売業務
事業所	上海本部　中国店舗数 7店舗

株式情報 (2011年8月31日現在) Stock Information

■株式の状況

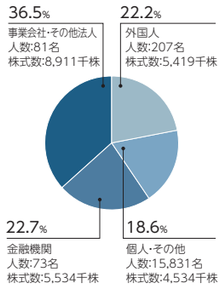
発行可能株式総数……50,000,000株
発行済株式の総数……24,400,000株
株主数……16,192名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社テツカンパニー	1,644	6.9
株式会社武平	1,500	6.3
株式会社月岡	1,500	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,362	5.7
株式会社フクゾウ	1,218	5.1
ビーピーエイチ マシューズ アジア デイビデンド ファンド	1,048	4.4
豊島株式会社名古屋本社	1,000	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	917	3.9
福田　三千男	719	3.0
株式会社良品計画	554	2.3

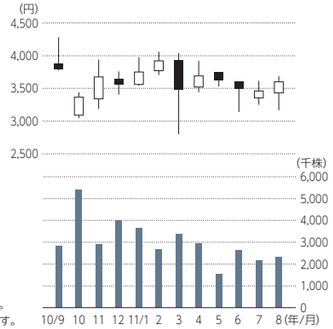
※持株比率は自己株式(637,885株)を控除して計算しております。

■所有者別株式数分布状況



※金融機関には金融商品取引業者を含みます。
※事業会社・その他法人には自己株式を含みます。

■株価・売買高の推移



■株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ℡ 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.point.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆様には、株主であると同時に当社商品のファンであって欲しいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主の皆様に、下記内容にて全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。(権利確定日:2月末)

所有株式数	商品引換券贈呈額
10株以上100株未満	2,000円
100株以上1,000株未満	5,000円
1,000株以上5,000株未満	10,000円
5,000株以上	20,000円